

こんな
アメ車は
大歓迎

カムリにインテグラ、ムラーノも凱旋「米国生産車新制度のなぜ？」

driver

ドライバー



令和8年4月20日発行(毎月1回20日発行)
昭和39年7月18日第三種郵便物認可 第63巻 第7号

高い! けれどすごい

マツダスピリットレーシング ロードスター MAZDA SPIRIT RACING ROADSTER

2026 June

6

driver

レクサスIS

メルセデス・ベンツCクラス / BMW 3シリーズ

驚きの
710万円



RAV4の独走は許さない

「ホンダCR-V / 日産エクストレイル」

ホンダ Super-ONE
スーパーワン



こんな電気を
待っていた

ホンダ0とソニー・ホンダモビリティのEV中止……「つまりこういうことです」 / 下地にこだわる春ツヤ洗車

GR86&BRZ カスタムスタイルBOOK 2026 etc.



BRIDE [ブリッド ジータフォー ヴェリア] ZETAIV VERIA

■価格：16万600円 ■カラー：ブラック [スモールモデル]

小柄なドライバー向けにチューニング

日本人の体型・骨格にフィットするシェルデザイン。座面底部に約15mmの高硬度ウレタンと、着脱可能な約15mmのウレタンが内蔵され、最大約30mmの座面アップを可能にした。

“戦う” レースクイーンと BRIDE

「女性や小柄な人にピッタリな
座り心地と安心感がGOOD!」

女性にとっては、体格に寄り添う安心感と快適性のバランスがシート選びの重要なポイント。メイド・イン・ジャパンにこだわるブリッドがリリースするジータIV ヴェリアは、圧迫感の少ない座り心地と高いホールド性で、チームブリッドのレースアンバサダーが愛車86と過ごす濃厚な時間をガッチリとサポートする。

文＝湯目由明 text by Yoshiaki Yunome
写真＝伊藤吉行 photo by Yoshiyuki Ito

＼ こちらも見逃すな / BRIDE注目モデル *Pick Up!*



[ストラディアスリー ヌグレ]

STRADIA III NUGRAIN

■価格：25万8500円
■カラー：チャコールグレー
■脚部：スタンダードクッション、ロークッション
上質感のある高触感素材を採用

フルバケットシートに匹敵する高い剛性とホールド性を兼ね備えたセミバケットタイプのフラッグシップモデル。ストラディアⅢの表皮にアクリルが開発した高触感素材「ヌグレ®」を採用。

[ユーロスターツー クルーズ]

EUROSTER II CRUZ

■価格：16万6100円 (シートヒーターなし) /
18万5900円 (シートヒーター付き)
■カラー：ベージュレザー

期間限定色のベージュレザーが新登場

スポーツカーからミニバンまで車種を選ばないバランスの取れたデザイン。人間工学に基づいたコンフォートライニングシートの期間限定色で、耐久性のあるPVC表皮を採用。



[ジータフォー ニュルマン]

ZETAIV NURMAN

■今夏発売予定

横幅にゆとりのあるフルバケットモデル

大柄な体型の人でも座れるように横幅にゆとりを持たせたフルバケットシート。標準幅のシートレールで装着できるのがポイントだ。車内がタイトなNDロードスターにも収まる。

サーキット走行が待ち遠しい
ひと足早く春の訪れを告げる満開の河津桜と調和する、ヘッドレストのBRIDEロゴとシートを縁取るダブルステッチがあらわれた鮮やかなピンクの刺繍。黒基調の Cockpit が紅一点、華やいだ客間気に。フルバケットシートのスタンダードモデル、ZETAIV (ジータフォー) をベースに、スリムで小柄なドライバー向けのチューニングを施したV E R I A (ヴェリア) が2脚据え付けられたトヨタ86。クルマの主はワンメイクのヤリスカップや富士の6時間耐久レースへの参戦経験があり、プライベートでもサーキットのスポーツ走行やドライブが大好きな篠田奏心さん。ヴェリアの装着を心待ちにしていた。

18歳で免許を取って初めての愛車がホワイトバールの86。幼いころシヨールームに飾られていたハチロクの展示車に憧れて、「いつかは乗ってみたい」という願いをかなえた。6速MTでフルノーマルのZN6 (アフライド) を中古車で手に入れ、コックピットと自分仕様で育ててきた。飛び石でフロントバンパーが傷だらけになるほど地元のサーキットを走り込み、ネットオークションや中古パーツ専門店を活用して機能アイテムを強化。タイヤはGR86/BRZカップのお下がりを履いて、中古のフルバケットシートをおこった。

ところが、篠田さんの体型(身長162cm、体重42kg)だとシートの幅が合わず、サーキット走行やワインディングなどGのかかる場面ではフィッティングに不満を抱いていた。「以前参戦した耐久レースでは私以外みんな男性だったので、ドライブバ交代のたびにバッドをシートの隙間に詰めました(笑)。86の純正シートでサーキットを走ったときは、コーナーでサポートが利かず体がズレて運転に集中できず、フィッティングの大切さを痛感しました」自分の体にジャストフィットするシートを求めて、篠田さんはブリッドのさまざまなラインアップに試座。シートに身を預けると自然と脇が締めまり、骨盤や太ももが包まれる心地よさ。シートと体が一体になったような着座感のヴェリアが気に入った。標準モデルに対しサイドサポートを約30mm狭め、ホールド性に優れる「ロングドライブや街乗りがとて快適になり、サーキットを走るのが待ち遠しいです」と笑みがこぼれた。

のステキな関係

Team BRIDE
レースアンバサダー
「BRIDE☆Gals」

篠田奏心
Kanami Shinoda

●今シーズンはブリッド☆ギャルズとしてスーパー耐久・ST-5Fクラスのチームブリッドをサポート。国内A級ライセンスを取得済み

